

在宅から入所まで“みんなの家”は、地域のみなさまの生活のお手伝いをしています!



大島町にある“みんなの家”

みんなの家は今年8年目を迎えます

宮崎市大島町にある小規模多機能ホームみんなの家は今年で開設8年目を迎えます。ご自宅から初めて介護サービスを利用される方から施設入所をご希望の方まで、様々なニーズにお応えしています。サービスの内容は、ご自宅に訪問させて頂きお困りなどあればお手伝いを「訪問」、送迎を行い通いで体操やゲームなどをする「通い」、ご家族の方が仕事や旅行等で不在時やお一人暮らしの不安な

方には短期間の宿泊もできる「泊り」など、ご希望のサービスをいつでも何度でもご利用できます。また施設2階に併設している高齢者共同住宅は、お部屋を契約することで長期入居できます。さまざまなご相談に対応し、地域密着型サービスを提供しています。

ご家族から感謝の声をいただいています

みんなの家の利用者さんは、厨房(給食室)で作った食事をいただき、服薬の管理や入浴、その他日常的な生活の支援を職員が行います。体操やおしゃべりなどで自由に過ごしている内に、お友達なじみの関係をつくり、日々会うのを楽しみに通われています。ご家族からは「利用している内に表情も明るくなり、生活の意欲が向上した」など感謝のことはいただいています。



施設の外に出かけてお花見も恒例行事です



季節の変わり目は玄関に飾る花の植え替えをみんなで行います



9条改憲を許さない! 戦争体験者からの発信



平和を願い職員とご利用者様と風船ピースアクション!!!

充実した介護サービスを目指します

今、介護が必要な方への支援だけでなく、これから介護が必要になってくる方やそのご家族へ向けた地域の介護相談窓口として機能することが、宮崎医療生協の職員である我々の役目です。今年4月に介護報酬の改定が行われました。利用・相談しやすい場として介護サービスの内

容を地域にもっと知らせていくとともに、利用料金の負担軽減や次世代の介護職が夢を持って育む環境づくりを行う政に向けて声に出しています。

(みんなの家所長 申間伸悟)

季節ごとに楽しい行事

春は花見、夏は祭り、秋は敬老会、冬は忘年会・餅つきと、季節ごとの行事は、見守りボランティアなど、地域の方々や組合員さんのご協力で楽しく開催しています。また、花植えや地区の祭り、行事に参加するなど施設からの外出も多く、その時の様子は、「みんなの家」広報として利用者のご家族をはじめ、宮崎医療生協の各事業所に配布しています。



夏祭りは御家族やボランティアさんも参加しての盆踊り!

審議・決定事項

- ①8月度の組合員増やしは78名(目標111名)、出資金増資は319.1万円(目標329万円)...

報告・承認事項

- ①8月度事業所活動について報告・承認しました。

今、宮崎医療生協は

Table with 2 columns: Category and 2018年8月末現在. Includes new members, funds, and classes.

組合員の転居及び氏名変更、お亡くなりになられた場合は宮崎医療生協(電話0985-23-7168)までご連絡ください。

宮崎市民プラザに126名の組合員が集い 組合員のつどいを開く

記念講演



熱演する三輪邦彦氏

9月12日(水)、宮崎市民プラザに126名の参加で、宮崎地区組合員のつどいを開催しました。冒頭、宮田徳一理事から「これまで組合員や職員が地域訪問を行い、仲間づくりや出資金増資を集めてきました。本日(12日)は、地域でどのような問題が起これば、そしてどういった取り組みが良いかを考える場になりたいと思います。今年(10月)は生協病院附属棟建設事業にも取り組みます。勇気を持って一歩踏み出しましょう。壮大な展望を持って月間に取り組みしましょう」とあいさつがありました。

組合員さんからの報告発表

この日は支部、佐土原支部、東部支部、小松支部から「私と医療生協」の朗読を。原水禁世界大会in長崎に参加した東部支部の2名の組合員さんから「平和を引き継ぐことは難しいことではないけれど、平和の取り組みを微力でも語り継いでいきたいと思います」と報告がありました。村尻勝信理事による月間のスローガンや目標、主な取り組み等の説明後、14支部から楽しい発表がありました。

三輪邦彦氏(日向子ども研究所代表)を講師に「共生社会を生きたるための地域づくりについて」子ども食堂の取り組みを中心にして」と題しての記念講演がありました。「子どもの貧困は、学校だけでは解決できない問題と生活の背景にある問題を解決しなければなりません。子ども食堂を運営する上で大切なことは、安心と安全です。そして仲間や場所、地域行政、企業との理解と協力も必要です。子ども食堂の取り組みを通して共生社会が自然に生まれてきました。子どもは親がいますが、子どもは地域で見守らなければなりません。今の社会はアンダークラス(貧困層)が増えています。大人が手と手を結び貧困の波がらなりませを守らなければなりません。貧困は学校だけではおこなえない社会問題です」と、日向子ども食堂の取り組みを通しての講演でした。

大規模災害訓練を美穂

昭和東南海地震および昭和南海地震が起きてから70年近くが経過。30年以内はM8.5以上の地震が、南海トラフで発生する確率は70%、80%と高まっています。宮崎生協病院は、8月29日13時50分、日向灘沖を震源とする地震が発生。宮崎市では震度6強を観測。市内全域で停電・断水・ガスの供給が停止。市内の各所で建物や倒壊し、けが人が発生。2mの津波の到来が予測。災害対策本部を立ち上げ、被災状況などの情報を集約。情報に基づき対策本部の役割や指示、病院診療の方針などを確認しました。訓練では模擬患者に10名の組合員さんご協力をいただき、症状ごとにトリアージカードで分別、入院患者の対応やレントゲン、心電図、エコー検査などの手順も改めて確認しました。訓練後、参加者から「医師、看護師などスタッフの取り組みが素晴らしい。訓練で学んだことを現場に活かしていきたい」との声が聞かれました。

風船ピースアクション

安倍政権による憲法九条の改定、辺野古新基地建設工事などが推し進められ、私たちの生命と生活が脅かされようとしています。憲法が輝く平和な未来を願い、宮崎医療生協の各院所と介護事業所は、9月7日(金)一斉に「風船ピースアクション」を行いました。宮崎生協病院では160個の風船を準備。医療生協本部前に組合員さんや職員合わせて約80人が集まりました。8月の原水爆禁止世界大会in広島に参加した林碧研修医師は「原爆の史跡をめぐり大平和を学ぶきっかけとなり、今、當瀬雅久研修医は個人の権利が尊重されなければ平和でない。みんなで平和について考えよう」と訴えました。遠藤豊院長の「戦争は人災。戦争は起こさせない。戦争しない未来のために」の台詞で空高く風船を飛ばしました。風船には、平和の願いを込めた短冊もつけました。組織部



願いを込めて大空に舞い上がる風船

第17回 宮崎県高齢者大会

『まちから村からの連帯でひとりぼっちの高齢者をなくそう』

- とき/2018年10月16日(火) 10:30~15:00

3分科会

- 「消費者問題への対応」(消費者トラブルの現状と対策について学びましょう!)

○オープニング「認知症ゲーム」

○記念講演 「モスグリーンの青春~平和を考える~」

*参加の事前連絡は不要です。昼食は各自でご準備ください。

●主催/宮崎県高齢者大会実行委員会

●連絡先/0985-31-9055(宮崎医療生協内)

おげんきですが文芸欄 黒木 余生坊北2支部) ジムに来て自転車をごき考える 浪費のエネルギーはエコ発電に (文芸欄の投稿をお待ちしています)

みんなの声 ①高校まで広島に住み原爆の悲惨さを知っています。平和公園にある原爆資料館は一人でも多く見てもらい、核兵器の恐ろしさを知ってほしいです。(延岡市Yさん男性)

虹の声 宮崎生協病院虹の意見箱 9月度宮崎生協病院利用委員会

○私はこの病院に入院してすごく感謝しています。入院費とかすごく不安でしたが社会福祉士さんにすいぶんお世話になりました。外科の先生や3階の看護師さんもすごく優しく安心して入院生活が良かったです。ありがとうございました。 ○お褒めの言葉ありがとうございます。引き続き、接遇向上を目指して取り組んで参ります。

医療生協健康ウォーキング

宮崎医療生協は、毎年春・秋に健康ウォーキングを開催して健康づくりにつとめています。一緒にウォーキングを楽しみましょう。

- とき: 2018年10月20日(土) (*雨天中止) 受付: 9時30分~、スタート: 10時00分

参加の申し込み 10月12日(金)までに宮崎医療生協組織部に 締め切り 電話(0985)31-9055で申し込みください。

生協いきいき健康ウォークin綾

コープみやざき・宮崎医療生協共催

●とき: 2017年11月17日(土) (*雨天中止) 受付: 9時30分~、スタート: 10時00分

参加の申し込み 11月10日(土)までに宮崎医療生協組織部に 締め切り 電話(0985)31-9055で申し込みください。